



Kaiken

京都市立開建高等学校
教頭 宮越 敬記

京都市立開建高等学校（令和5年4月開校）

設置学科：ルミノベーション科(その他普通教育を施す学科)

募集定員：240名

教育目標：より良い未来をめざし、個性を活かして社会を協創する生徒の育成

「希望をもって**未来を協創**することを通して、生徒一人一人が**新しい自分**を見つけ、**自らの成長**を実感できる学校」

育成する6つの資質・能力

学び続ける力：変化する社会においても、自由な発想で学びを楽しみ、自己を成長させ続ける力

対話力：他者の意見を受けとめ、自己の考えについて根拠をもって発信し、対話を通して新たな発想に導く力

協働力：他者を巻き込み様々な違いを乗り越えて、あらゆる場面で協働する力

思いやる心：文化的背景や考えを理解し、自他を大切にする心

貢献志：よりよい未来を目指し、その創造に主体的に向き合おうとする志

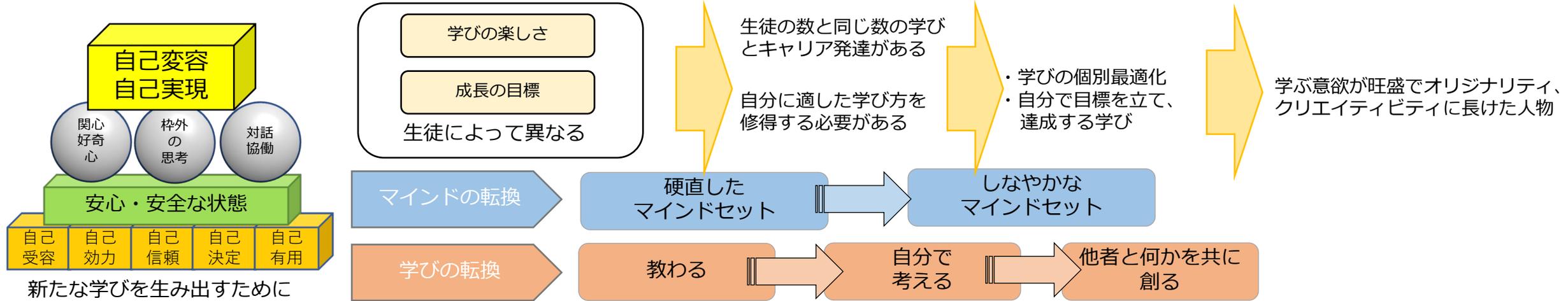
挑戦力：失敗でさえも原動力として、自己の成長や様々な課題に向き合う力

開建高校 学びの設計書

「自分らしく生きていくために必要な、自ら考え自ら学ぶ力」をつける学び

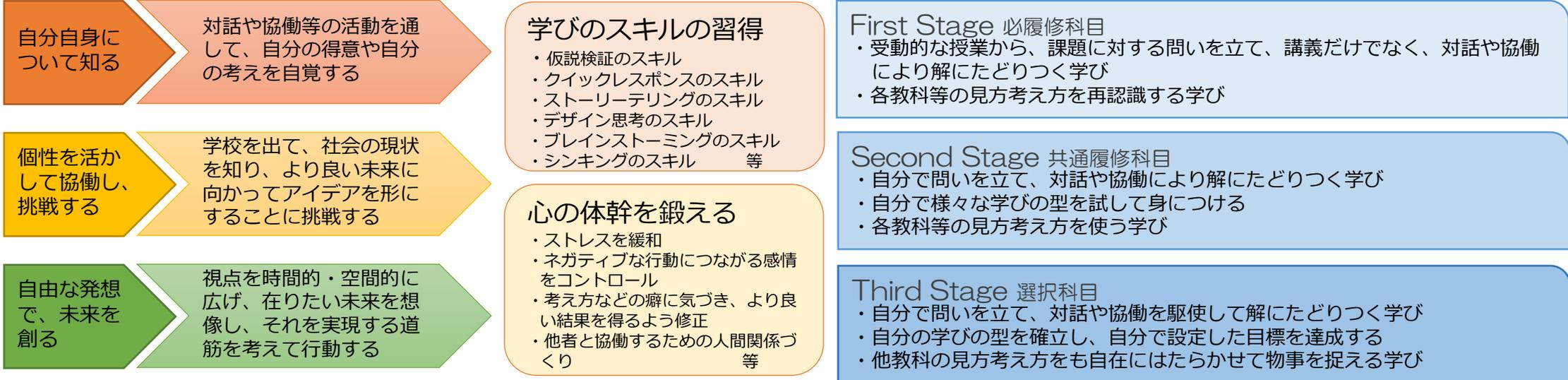
仮説①：自分らしく生きていくためには、自分の良さや可能性を認識し、他者を尊重すること、かつ、自分が未来社会の創り手であるという志をもつことが必要ではないか

仮説②：自ら考え自ら学ぶためには、学びが楽しく、自己の成長につながるものと感じられ、かつ、学び方がわかっていることが必要ではないか



新たな学びを生み出すためには、自分を肯定する力が必要

教育活動の3本の柱



設置の目的

- ◆学びのモチベーションを高める探究的な学びを重視したカリキュラムの構築
- ◆京都の都市特性を最大限に活かし、未来を創造する力を育む教育活動の確立

特色・魅力ある教育の概要

(1) 授業が変わる

- ◆未知のことや課題に対して生徒が自分で問いを立て、解決の方法を見出す探究的な学びを重視し、生徒の「学びたい」という意欲をかき立てる授業を行う。また、仲間や社会との対話・協働を通じた学びも重視し、多様性を大切にすることで態度を涵養する。
- ◆1つのラーニングポッド（L-pod）での活動は複数の教員で指導し、生徒を多面的にサポートし、生徒一人ひとりに応じた学びを支援する。
- ◆机を自由に配置できる普通教室4つ分の広い学び空間<L-pod>を新校舎の特徴的な設備として整備し、教室のサイズ・形態を自在に変化・転換し、授業の目的や活動内容、また生徒の学びやすさによって、多様な学習活動を展開する。

(2) 魅力あふれる京都をフィールドに実践する探究活動

寺社仏閣や伝統文化、企業のまち、大学のまちなどの都市特性を存分に発揮し、幅広い機関と連携して、生徒が京都で学ぶ価値を享受できるよう、多様で奥深い京都の都市特性に触れるフィールドワークや、課題の発見と解決、京都のさらなる魅力発信にも寄与する探究を行う科目を設定し、3年間を通して生徒が探究活動を行う。

(3) 生徒が夢中になれる課外活動

生徒が自由に活動を企画できる「New HORIZON Day」、地域や大学等と連携した活動プログラムなど、生徒自身がやりたいことに主体的に挑戦できる課外活動の機会を地域協働コーディネーターと協力し創出する。

関係機関との連携・協働体制の構築方法



令和4年度の目標

- ◆学びのモチベーションを高める授業の実践に向けて、開建高校での学び（問いから始まる学び、対話・協働での学び、個に応じた学び）や、L-podを活用した複数の教員によって生徒を支援する授業を構築する。
- ◆未来を創造する力の育成に向けて、地域や企業、大学等と連携して、京都をフィールドに生徒自身が課題を発見し、解決に向けて取り組む探究活動を構築する。
- ◆生徒自身がやりたいことに主体的に挑戦できる課外活動の実施に向けた、支援体制を構築する。

令和4年度の実行状況

- ◆「自ら考え自ら学ぶ力」の育成を目指した教育課程の構築
- ◆教職員研修や授業研鑽週間の実施
- ◆地域組織と連携した「未来デザインプログラム」の実施
- ◆「New Horizon Day」や「KAIKENプロジェクト」など、生徒が夢中になれる課外活動の実施
- ◆教育活動を支援するコーディネーターの設置に向けた準備
- ◆指導・助言や活動支援をいただく運営指導委員会の設置・実施
- ◆先進校の視察

成果と課題

- ◆開建高校での学び（「問いから始まる学び」「対話・協働での学び」「個に応じたまなび」）について全教職員で共通認識を持ち、問いづくりに取り組んだ。実践を通して、生徒に自ら考え自ら学ぶ習慣や学びの楽しさを感じさせられているかの検証をし、改善を進める。
- ◆生徒が自ら選んだ企業・大学で、より良い社会の創造に向けて挑戦していることや、個人の思いを知ることで、自らの将来やキャリア展望と関連させて自身と社会との関わりを考えることができた。生徒の興味・関心を広げ、学校での学びと社会とのつながりを実感させる振り返りやフィードバックの実践に今後力を入れる。
- ◆校章デザインや校歌歌詞作成等のプロジェクトに興味・関心がある生徒が積極的に参加し、学校での学びの成果を実感でき、貢献意識をつなげることができた。地域で活躍する企業等の方が教育活動に参画することの意義を学校全体で感じることができた。
- ◆「New HORIZON Day」を実施し、生徒が主体となって企画・運営することができた。地域や社会と関わる企画や貢献につながる企画を生み出す仕掛けづくりが課題である。

カリキュラム開発の3つの柱

- ①授業が変わる ～学びを楽しむ～
- ②魅力あふれる京都をフィールドに実践する
探究活動 ～学びと社会をつなぐ～
- ③生徒が夢中になれる課外活動
～より深く、より広く～

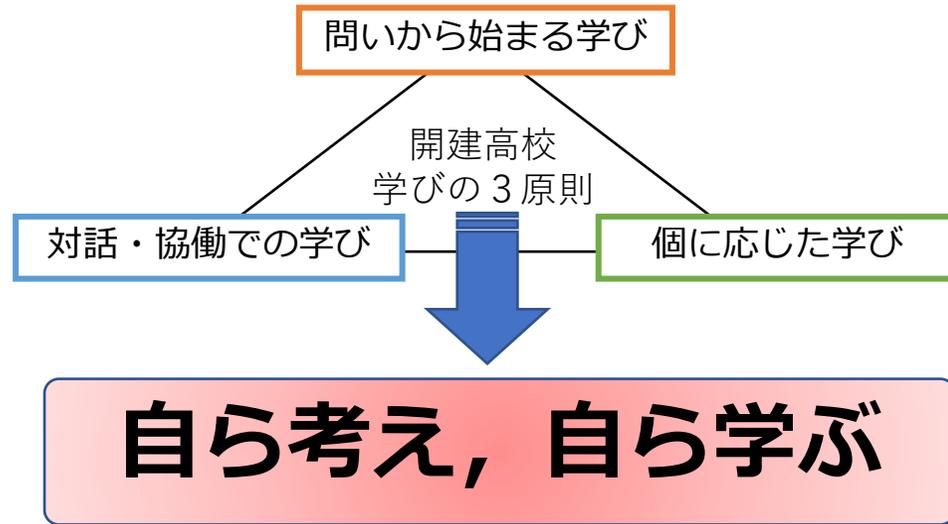
①授業が変わる ～学びを楽しむ～

課題意識

- 学びに向かう生徒のモチベーションが高められていないこと
 - これまでの学びが知識伝達型の傾向にあること
- (なにより授業が楽しいものでなければ!!)

「新たな学びの形」の実践

授業のアプローチを変える → 「伝える」から「考えて至らせる」
 教室の形を変える → L-pod空間を活用した多様な学び



すなわち



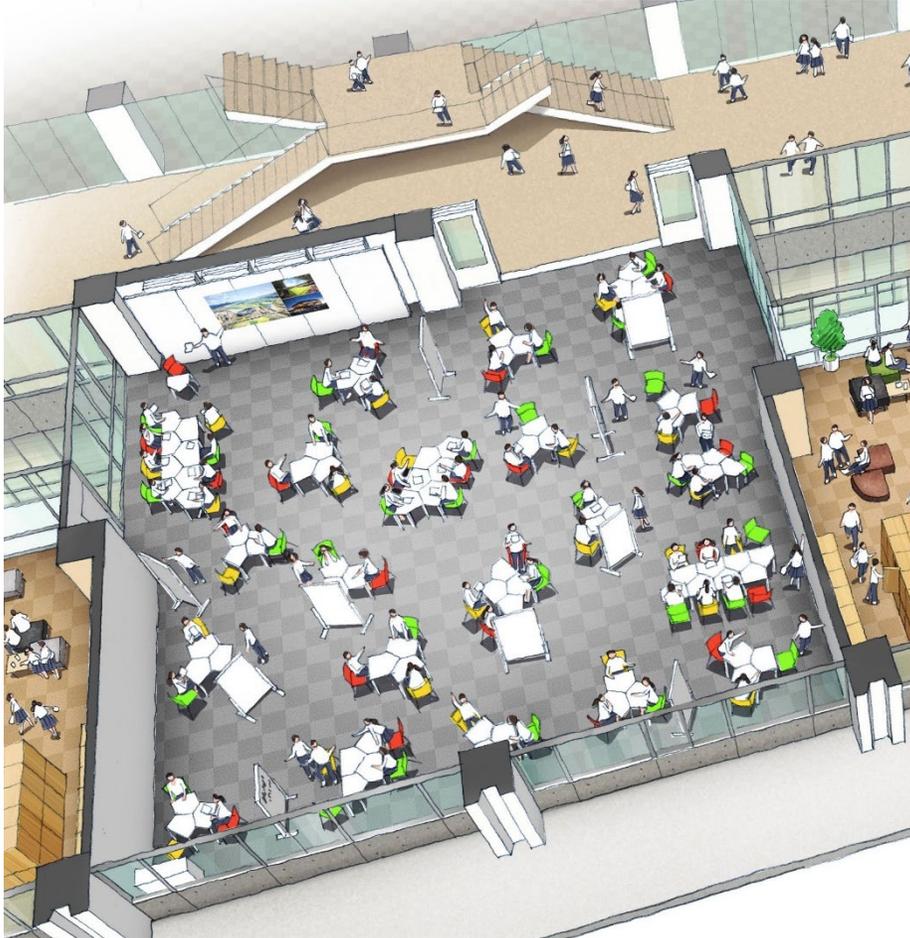
このように学びの主体を生徒にシフトする

問いの例 (歴史総合)

「なぜ英語で紅茶はBlack Teaというのか？」

それってどういうこと？を起点に、多様な他者と多様な学びの形態から、自分自身の学びを創りだす。

新たな学びの環境L-podの活用



- 16m×16mの広い空間
(普通教室4個分のサイズ)
- 80人単位のクラス (クラス担任4名、
教科指導担当3名)
- 机, イスは可動式
- 授業内容に合わせて、
学びのカタチを変化させる
- 様々なカタチの成果を検証
より適したカタチの模索

授業の一番の評価者は生徒です

「3種類の解釈が聞けて、作品への理解が深まった」

「今日のグループワークは必要なかった」

ねらった力は育成できているのか

学びのモチベーションが高められているのか？

そもそも、その授業のゴール設定は適切か？

(狭義の) 学力につながるのか？

一つのカタチにこだわらず、
常に目的に向かって良いものを目指し、
改良を続ける

②京都をフィールドとした探究活動 ～学びと社会をつなぐ～

1年生前期は探究活動に向かうスキルを修得

1年生後期から京都をフィールドに探究学習

16のコアスキル

汎用性の高い方略（コアスキル）を身につけ、多様な学び方を獲得し、それらを組み合わせることで、自らの学びに活用する。

コアスキルにより、固定的に考えていた学びについて、多角的に捉えることを促したり、チームビルドの参照点となったりすることができる。

16のコアスキル (例)

スキル SKILL 伝えてみる



自分の意見や考えを表明し、相手の反応や意見を受け止めつつ、理解を促す

「考えたことを伝えたい。言葉だけでなく図も添えて、分かりやすくしてみよう」
…自分の考えが伝えられるかも。伝わらなくても、どこが伝わらなかったのかわかるかも。

属性: 表現 **Presentation-01**

スキル SKILL 受け止めてみる



メッセージや情報を受け止め、その時の自分の反応を表す

「あの挑戦をした人のお話にあった不安でもやり抜く強さって、こういう気持ちかな」
…メッセージや情報を自分がどう感じたか、表現することで、自分のものにできるかも

属性: 表現 **Presentation-02**

スキル SKILL 分からないと言ってみる



わからないと言葉で表してみる

「〇〇について考えていると、相手の反応が想像できなくて分からないんだ!」
…分からないと表現してあることで、新たな道が拓かれるかも

属性: 表現 **Presentation-03**

スキル SKILL まねしてみる



ほかの誰かの活動や思考を取り入れ、できるだけ同じように考え、活動してみる

「Aさんはテーマを考えると、関わる人のタイプで分類して考えていたな。私も、まねしてみよう」
…自分で考えつかない視点や方法の発見や、新たな刺激があるかも。

属性: 表現 **Presentation-04**

自分の考えを整えたとき

意見が違おうと分かっているけど、自分の主張をしたとき

伝わるか自信が無いが、伝えたいことがあるとき

未経験の物事に触れたとき

挑戦する勇気が出ないとき

メッセージを受け取り、その返答をしたいとき

調べてもわからないことがあるとき

自分の気持ちが分からなくなった時

形のないことで迷いが深まったとき

新たな視点から物事を考えてみたいとき

優れた実践を行っている人から学びたいとき

自分の考えや取れる行動を拡張したいとき

16のコアスキル

各教科の授業や諸活動においてコアスキルを参照した声かけや指導を行うことで、探究の時間のみに使うものではなく、また、日常で必要なスキルだということを実感させる

学校説明会での生徒企画
コアスキルカードを使って
「未来の電車を創造しよう」



京都探究 (後期)

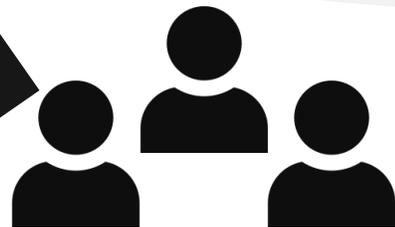


「考える素材」
企業・大学が
活動するにあたって持っている、
現状の認識や問題意識

京都で活躍の企業・大学
フィールドとしての「京都」

フィードバック
生徒の探究活動の成果について、
講評をいただく

参加



開建高校1年生

「素材」の中から課題を見つけ、課題解決のための探究活動を展開
・アプローチ方法は生徒が考える
・調査研究、思考実験など

③ 生徒が夢中になれる課外活動 ～より深く、より広く～

New HORIZON Dayの取組紹介

普段とは違う活動にチャレンジ

～自分の興味・関心を広げ、仲間と楽しもう～

塔南開建高校吉祥院校地をキャンバスに 感謝を込めてお絵描き！

企画者：三年一組

場所：学校内の指定された場所にお絵描きコーナーを設けるので
その範囲内でお絵描きを楽しめたらと思います。

近づいてきた新校地への引っ越し。
ここで過ごせる日も残りわずかとなりました。
綺麗な新校舎も楽しみですが、なんだか寂しいですね。
私たちだけでなく、今まで卒業していった先輩方や
学校運営に携わってきた先生方、地域の皆さん。
多くの人の大切な思い出が詰まっている場所です。
ぼろぼろだけれど、最後まで私たちを見守ってくれました。
最後に校舎への感謝の気持ちを込めて、
塔南生開建生みんなでお絵描きをしてお別れしませんか？
絵が得意な人も苦手な人も大歓迎です。

画材は各自持参でよろしくお願いします！
参加申し込みフォームはこちら→

Image
2022.9



他にも、ドッチボール大会、
ゲーム大会等を生徒が企画・運営して実施

キューブ王に俺はなる!!!!

～簡単な手順で揃えられる～

ルービックキューブを揃えられるようになりたい！
手先が器用になりたい！
ルービックキューブに触れてみたい！

ルービックキューブやりたい人、興味を持った人は
ぜひ参加してください！6面を揃えられるよう
サポートします🔥

- 概要
- ・募集人数は10人程度です。(人数によっては抽選)
 - ・ルービックキューブは3列×3列と2列×2列を
貸せるだけ貸し出します！
(人数が多いとアプリでします)
 - ・場所は決まり次第お伝えします。
 - ・持ち物はスマホ📱です。
(充電余裕があるようにしてください)
 - ・最初にアイスブレイクします。



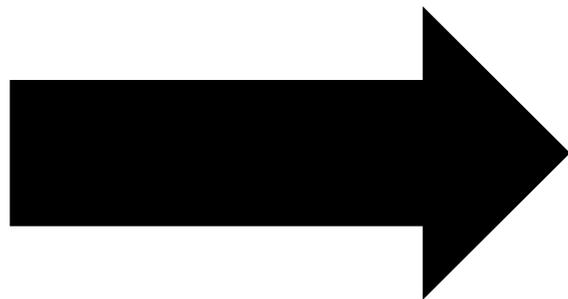
企画者：1年2組



↑参加申し込みは
こちらから🎵

「やってみたいをやってみる」といっても、
「自分たちが楽しければそれでいい」で終わっていて
はいけない。

自分の好きなこと、得意なことに果敢に挑戦し、
かつ周りの幸福に繋げる活動にスイッチしてほしい



自分にとっての「幸せ」とは何
かを見出し、人生を自分の力で
切り拓く力となる

地域協働コーディネーターについて

- 地域、企業等の連携先の開拓および連絡窓口
- 授業（主に総合的な探究の時間）でのグループワーク等におけるファシリテート
- その他、学校の業務の補助（学校を知ってもらおうような業務）
- 週20時間勤務

現在、重視していること

教職員の生徒へのかかわり方

- ・ 行動の主体が生徒自身であることに気づく支援
- ・ 自立する力を養う支援
(与えすぎない教育とは)

とはいえ、まだまだできていないことばかりです
午後の授業見学も含め、ご意見・ご指摘をお願いします